2026年11月５日

各　位

会 社 名　　株式会社ゴールドウイン
代表者名　　代表取締役社長CEO　　渡辺 貴生
（コード番号 8111 東証プライム）
問合せ先　　取締役副社長執行役員CFO
白崎 道雄
（TEL 03-6777-9378）

第２四半期（中間期）業績予想値と決算値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2026年８月６日に公表しました2027年３月期第２四半期（中間期）の業績予想につきまして、本日発表の実績値との間に差異が生じましたのでお知らせします。また、最近の業績動向等を踏まえ、2026年５月13日に公表しました2027年３月期の通期業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の業績予想値と決算値との差異（2026年４月１日～2026年９月30日）

（連結業績）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	55,600	4,200	7,000	5,400	39.48
実績値（B）	56,094	4,756	7,691	5,510	40.28
増減額(B－A)	494	556	691	110	
増減率（%）	0.9	13.2	9.9	2.1	
（参考）前期連結実績（2026年３月期中間期）	55,589	6,959	9,093	6,798	49.56

※2025年10月１日を効力発生日として普通株式１株につき３株の割合をもって株式分割を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、１株当たり中間純利益を算定しております。

（個別業績）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	48,900	3,300	7,200	6,000	43.87
実績値（B）	48,934	3,559	10,069	8,379	61.25
増減額(B－A)	34	259	2,869	2,379	
増減率（%）	0.1	7.9	39.9	39.7	
（参考）前期個別実績（2026年３月期中間期）	49,516	5,690	9,370	7,466	54.44

※2025年10月１日を効力発生日として普通株式１株につき３株の割合をもって株式分割を実施しております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、１株当たり中間純利益を算定しております。

２．差異の理由

韓国における持分法適用関連会社である YOUNGONE OUTDOOR Corporation からの受取配当金等により、個別上の経常利益、中間純利益については予想を大きく上回る結果となりました。

３．2027年３月期通期業績予想数値の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

（連結業績）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	145,400	26,100	34,100	25,600	187.16
今回修正予想(B)	141,500	23,800	32,500	24,300	177.63
増減額(B－A)	△3,900	△2,300	△1,600	△1,300	
増減率（%）	△2.7	△8.8	△4.7	△5.1	
（参考）前期連結実績（２０２６年３月期）	137,516	25,859	33,904	24,094	175.76

※2025年10月１日を効力発生日として普通株式１株につき３株の割合をもって株式分割を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、１株当たり当期純利益を算定しております。

（個別業績）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	129,300	23,300	32,900	25,500	186.01
今回修正予想(B)	125,400	20,700	33,500	26,300	192.25
増減額(B－A)	△3,900	△2,600	600	800	
増減率（%）	△3.0	△11.2	1.8	3.1	
（参考）前期個別実績（２０２６年３月期）	122,722	22,635	32,034	24,543	179.03

※2025年10月１日を効力発生日として普通株式１株につき３株の割合をもって株式分割を実施しております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、１株当たり当期純利益を算定しております。

４．修正の理由

2026年８月６日時点では、第１四半期の下振れは一時的なものと見込んでおりましたが、８月以降も天候不順やインバウンド需要の鈍化に加え、店頭における秋物需要の立ち上がりの遅れや一部商品の納期ずれが重なり、上期の業績は期初の計画を下回りました。

このため、上期の期初計画に対する未達分を通期予想から減額し、下期は期初の計画を据え置いております。

今後、秋冬商戦の進捗を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

（注）業績予想につきましては、発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以　上